

# 平成30年度 大館市立長木小学校 学校評価書 (年度)

平成31年2月8日

## I 学校教育目標

ふるさとに立ち 心豊かで たくましく 生き生きと学び合う 子どもの育成  
～樹海の里にキラッと輝き合え 長木っ子!～

## II 本年度の経営の基本方針

- (1) チーム長木として、明確なめあてをもち、職員個々の力を生かしながら学校運営に当たる。
- (2) 他のよさを認め、自分のよさを発揮しながら協働できる子どもの育成に努める。
- (3) 児童の実態に合わせた5つの輝き力向上に継続的な取り組む。
- (4) 適切な情報発信を心掛け、保護者・地域に信頼される学校を目指す。



ノーマディアデー広報運動に中学生と合同で取り組みました!



秋の校内マラソン記録会では一生懸命走り、応援する姿が!



秋になっても、エソタンポポの世話、観察は続きます!



地域指導者との正課クラブ～ヨガで心身をリラックス!



絆タイムでは、学年関係なく鬼ごっこ～6年生につかまるな!



きりたんぼまつりでは、2年生もエソタンポポ体操で地域貢献!

## III 学校評価基準等

自己評価Aと学校関係者評価の評価基準	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況はきわめてよく意識も高い/数値目標100%以上
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある/数値目標81～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好/数値目標61～80%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定/同40～60%
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する/同39%以下

### ◆児童・保護者アンケート調査評価基準・集計状況

よくしている・よい	4
まあまあよい	3
あまりよくない・少し不十分	2
まったくよくない・不十分	1
わからない	0

調査対象児童数 3～6学年	101名
調査対象保護者世帯数	124世帯
保護者アンケート回収率 前期	77%
年度	74%

## Ⅳ 項目別評価

### I 社会性の育成

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
基本的な生活習慣を身に付け、規律ある態度で、協力し合い、充実した学校生活を送ろうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	学校の方向性と地域の理解がよい。見守りたいや地域の人に対する挨拶に積極性が足りないので、学校だけでなく家庭での指導も充実させていきたい。
	年度	良好	良好	見守り隊や地域の人に対して挨拶は向上しているようだが、家庭からの指導で、顔を見て大きな声で挨拶ができるようになってもらいたい。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】地域での挨拶に対する子ども達自身の評価数値は高まってきたが、保護者アンケート結果には反映されていない。だれから見ても高まりが感じられるように、どこでも挨拶できるたくましさや地域の一員としての意識を更に向上させていきたい。職員全体で子どもの悩み等の発見と早期対応に努めており、欠席者が一人もなく、全員が元気に学校で過ごす日も多い。保護者がより安心して子どもを学校に通わせるよう、この体制をしっかりと伝え、相互の協力体制を強化していきたい。			
	【年度→次年度】地域での挨拶については、保護者アンケートのポイントにも向上が見られるようになってきた。確実な高まりが感じられている。しかし、「まだ十分でない」という保護者からの意見もあり、満足すべき状態ではない。一人一人の実態を見取り、それぞれに適した指導を行うことで、全員の挨拶力を更に高めていきたい。児童会活動等においては、学校として見通しをもって取り組める体制を整え、子ども達の主体的な活動を支援していきたい。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(1) 基本的な生活習慣	①正しい言葉遣いとあいさつと返事の習慣化	あいさつ運動 登下校時や校内でのあいさつ・会釈の指導	3.0	3.6
	②生活の約束を守る姿勢・態度の定着	長木っ子の約束の徹底		
(2) 集団生活・集団行動	③よりよい学校づくりに参画する態度と実践力の育成	児童会活動（委員会 グループ活動）クラブ活動	3.4	3.9
	④学級活動における、互いのよさを生かし認め合う態度の育成	係活動 学級会 グループ活動 道徳の時間		
(3) 組織的な生徒指導	⑤校内外の危険箇所の把握と安全環境の確保	交通安全教室 避難訓練 危険箇所点検 連絡・メール配信システムの整備 P T A ・地域子ども見守り隊との連携	4.1	4.0
	⑥問題行動等の早期発見、早期対応、指導体制の確立	長木っ子を語る会		

#### 【各種データ】

#### ◆教職員による評価

※（ ）内は前期の評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)
3.8	(1)=3.6	①=3.6 ②=3.6
	(2)=3.9	③=3.9 ④=3.9
	(3)=4.0	⑤=4.0 ⑥=3.9

- ・挨拶は定着されていると思う。特に、低学年ははっきり元気よく挨拶してくれる。
- ・校内での挨拶は4～5レベルだと思う。来校者の声からも成果を感じる。
- ・挨拶はだいぶよくなったが、「明るさ」「元気さ」「さわやかさ」がもうひと頑張り。
- ・廊下歩行の仕方が少し気になる。大騒ぎしながら歩いている場面がある。元気でよいと思う反面、奇声に近いようなものもあるので気になる。
- ・児童会活動やありがとう集会などで、もう少し積極性や実践力のある子どもを育てたい。

- ・生徒指導主事中心に対応が速く、児童の様子が把握されている。

◆児童アンケート（上段が前期，下段が年度）※単位は%。端数処理等で100%にならない場合がある。

調 査 項 目		4	3	2	1	0
①	あなたは、友だちや先生方に対して「あいさつ」をしていますか。	58	38	2	0	2
		59	38	2	0	1
	あなたは、地域の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	71	20	8	0	1
		74	20	5	1	0
	あなたは、来客の方々に対して「あいさつ」をしていますか。	63	31	6	0	0
		74	22	4	0	0
②	あなたは、学校や家庭の約束を守っていますか。	56	36	6	1	1
		57	36	4	1	2
③	あなたは、児童会活動や学級の係活動、給食・そうじ当番などの仕事をきちんと行っていますか。	75	19	6	0	0
		79	18	2	0	1
④	先生方は、あなたをほめてくれたり、はげましたりしてくれていますか。	67	25	5	0	3
		79	19	2	0	0
⑪	あなたは、学校が楽しいですか。	76	16	6	0	2
		79	18	3	0	0
⑫	先生は、困ったとき、話を聞いたり相談にのったりしてくれますか。	76	17	4	0	3
		80	19	1	0	0

◆保護者アンケート（上段が前期，下段が年度）※単位は%。端数処理等で100にならない場合がある。

調 査 項 目		4	3	2	1	0
①	子供達は、ご家庭や町内で元気なあいさつをしていますか。	26	54	14	5	1
		27	54	14	2	3
②	子供達は、家庭や学校での約束を守ろうとしていますか。	43	45	9	1	3
		43	47	8	1	1
③	子供達は、あいさつ運動や学級の係活動、給食や清掃など、自分の役割を果たそうとしていますか。	81	18	0	0	1
		73	24	1	0	2
④	学校は、校内外における子供の安全確保について、情報収集と十分な安全対策をとっていますか。	52	32	7	2	6
		58	35	4	0	3
⑤	学校は、いじめ等のない安心できる学校づくりに取り組んでいますか。	43	36	2	0	19
		54	34	1	0	11

## II 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
食や運動を通じて健康や体力に関心をもち、望ましい生活習慣を身に付けようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ノーメディアデー、朝のさわやかマラソン、徒歩登校などは高く評価できる。ノーメディアデーの一層の周知をお願いしたい。
	年度	おおむね良好	良好	ノーメディアデーを継続しつつ、メディアとの接し方、マナーやルールについての情報を勉強してもらいたい。メディアについては、トラブルにならないよう有効に活用してってもらいたい。
自己評価の概要と学校の改善策				<p>【前期→年度】生活の乱れが学校生活に支障を及ぼすほどではないが、ゲームをする時間が多い等の子どもは複数見られており、適切な時刻での就寝が課題となっている。本校から始まったノーメディアデーは今年度、東中・一中学区全体の取り組みにまで広がった。今後、ノーメディアデーの充実と併せ、早寝を中心とした働きかけを進め、健やかな成長を支えていきたい。</p> <p>【年度→次年度】児童・保護者アンケート共に、生活習慣のポイントが低いままである。別に</p>

ライフスタイル調査を実施した結果、全国平均よりも「就寝時間が遅い」「朝ご飯をしっかりと食べてこない」割合が、特に高学年において多いことが分かった。保護者への一層の啓蒙を含め、家庭と連携して改善するための具体的な手立てを講じていく必要がある。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(4) 保健体育・食育の指導の状況	⑦基本的な生活習慣	すこやか健康通帳 ライフスタイル調査 保健室廊下掲示 保健・食育指導の充実 ノーメディアデー 保護者への啓発	3.3	3.7
(5) 体力づくり	⑧さわやかマラソン・業間運動への積極的な取組	さわやかマラソン 外遊びの奨励 駅伝大会の実施	3.3	3.6
	⑨新体力テスト結果の向上	結果分析・活用 体育授業での補強・準備運動		

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題
3.6	(4)=3.7 (5)=3.6	⑦=3.7 ⑧=3.6 ⑨=3.5

- ・ノーメディアデーの取組を児童が主体になってやっていた。
- ・就寝時間やメディアに触れる時間など、家庭と連携し、改善を図っていく必要がある子もいると思う。給食を食べられない子も気になる。
- ・マラソン記録会で、運動会の記録を更新しようと頑張らせたのがよかった。
- ・マラソンのマンネリ化が感じられる。何か考えたい。

◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑥	あなたは、早ね 早起き 朝ごはん、歯みがきをしっかり行っていますか。	58 57	32 33	7 8	1 2	2 0
⑦	あなたは、「さわやかマラソン」や「てくてく歩こう運動」をすすんで行っていますか。	54 59	32 27	11 9	2 4	1 1

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑥	子供達は、「はやね はやおき 朝ごはん」の習慣が身に付いていると思いますか。	34 27	37 46	21 26	7 1	0 0
⑦	歯みがき指導やノーメディアデー等、子供達の生活習慣を改善するための学校の取り組みは効果があると思いますか。	30 34	51 41	7 14	3 3	9 8
⑧	てくてく歩こう運動、さわやかマラソン、駅伝大会等を通し、学校は進んで運動し体を鍛えようとする子どもを育てていますか。	55 59	34 34	4 4	1 2	5 1

Ⅲ 基礎学力

児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
意欲的に授業に取り組み、基本的な学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	算数の応用的力など、昨年度の課題への対応を行った成果が出ており、学力が全体にバランスよく伸びてきている。読書の時間を増やす、図書数を増やして親子読書などを行うなどの取組を試みたらどうか。
	年度	おおむね良好	良 好 全体的に学力の向上が図られたと思う。図書室が修繕され、本と接する環境が整ったので、読

書に力を入れていってもらいたい。

自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】今年度は、自分が学習したことのよさを大切にして、次に生かす活動を重視した授業づくりに取り組んでいる。ここまでの成果として、授業での自分の学習を適切に振り返る力に向上が見られている。この力を生かして、より主体的に学び合う学習へと進めていきたい。ドリル検定、長木検定等の取組は、子供達の目的意識・やる気が更に高まるよう、時期や内容の改善を検討中である。
	【年度→次年度】一人一人の振り返りを大切に生かして、次につなげていく授業改善は一層進み、子ども達の学習スタイルとして定着させることができた。子ども達が意欲をもって、主体的に学び合う学習の姿は、様々な機会において外部参観者から高い評価を受けた。更に一人一人が確実に学習内容を定着し、理解力・表現力を高めていく授業づくりに取り組んでいきたい。11月まで天井劣化により、図書室が使えない状態であったというハンディはあったものの、読書習慣の評価に全く高まりが見られていないのは、大きな問題である。解決に向けた取組の抜本的な見直しが必要であると感じている。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(6) 学習への取組	⑩基本的学習習慣の定着	学習の約束(チャイム席/準備) 話す聞く 家庭学習	3.3	3.7
	⑪学習内容の基礎・基本の確かな定着	ぐんぐんタイム 週末課題 長木検定 ドリル検定		
	⑫読書活動の推進	朝読書 読書運動		
(7) 諸学習調査の状況	⑬学習状況調査等の分析と改善	NRT・学習状況調査・CRTの分析と活用・補充指導	3.1	4.0

【各種データ】

◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題		
3.9	(6)=3.7	⑩=3.9	⑪=3.8	⑫=3.5
	(7)=4.0	⑬=4.0		

- ・家庭学習では、よいノートを参考にする児童が増えてきた。
- ・定期的なドリル検定は基礎学力の定着につながると感じた。

◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑧	あなたは、家庭学習を毎日忘れずにやっていますか。	70	21	8	1	0
		79	14	7	0	0
⑨	先生は、わかりやすく教えてくださいか。	78	18	3	0	1
		85	13	2	0	0
⑩	あなたは、音読や読書を進んで行っていますか。	65	30	5	0	0
		57	38	5	0	0

◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑨	子供達は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。	45	48	4	2	1
		51	38	11	0	0
⑩	ぐんぐんタイムや週末課題、長木検定等を通し、学校は子供達の基礎学力の定着に力を入れていると思いますか。	64	32	0	1	3
		71	25	0	0	4
⑪	学校は、「わかりやすい授業」を提供していますか。	44	36	3	3	14
		54	37	2	0	7
⑫	子供達に、家庭で読書をする習慣が身に付いていると思いますか。	15	38	22	17	7
		14	28	37	17	3

#### IV ふるさとキャリア教育

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
ふるさとへの誇りと愛着心を持ち、ふるさに生きようとする自立した気概をもとうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	エゾタンポポプロジェクトの取組が良好である。特に、命の大切さに目を向ける学習がよい。山田町訪問を全員参加とし、事前学習を行って実施したことはとてもよかった。
	年度	良好	良好	エゾタンポポプロジェクトはこれからも継続して行ってほしい。鳳凰太鼓の伝承もこのまま継続し、頑張っていてほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】エゾタンポポの栽培は順調に進んでおり、秋にはポットに育ったたくさんの苗を校章花壇に植え替える予定である。今年度は、「命輝け！エゾタンポポプロジェクト」の名称に変え、エゾタンポポを中心に据えながらも、幅広い視野で「命の大切さ」を学ぶ学習として進めている。9月12～13日には初めて6年生全員で岩手県山田町に行き、船越小学校全児童と命の学習交流をしたり、現地の被災ガイドから震災当時の話を聞いたりすることができた。			
	【年度→次年度】全てにおいて高い評価を受けることができた。エゾタンポポプロジェクトを命をテーマにした取組へと修正したことで、活動を進めやすくなり、12月のエゾタンポポ発表会では、どの学年においても思いのこもった充実した発表が見られた。特に、初実施した6年生全員での山田町訪問の成果が目立ち、とても大きな価値のある学習であったことが示された。伝承クラブによる鹿島太鼓への取組もすっかり定着し、堂々とした姿で地域に発信する姿が印象的であった。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(8) エゾタンポポプロジェクト	⑭エゾタンポポ絶滅危機の回避	エゾタンポポの植栽活動	3.6	4.1
	⑮エゾタンポポプロジェクトの広報活動	全体計画・学年計画の立案, 実践 他地域との交流		
(9) 伝統芸能の取り組み	⑯鳳凰太鼓, 鹿島太鼓の伝承	太鼓クラブによる伝達 伝承クラブによる伝達	4.2	4.4
(10) キャリア教育に重点を置いた取組	⑰協働力実践へのアプローチ	宿泊体験学習 地域行事への参加 町探検・職場体験 施設訪問 全校ふるさと学習 輝き力アップ教室	3.6	4.1

#### 【各種データ】

##### ◆教職員による評価

自己評価A	評価指標(自己評価B)	実践課題(自己評価B)	
4.2	(8)=4.1	⑭=3.9	⑮=4.2
	(9)=4.4	⑯=4.4	
	(10)=4.1	⑰=4.1	

- ・「命」をテーマにしたことで、総合的な学習の時間で取り組みやすくなった。6年の山田町につなげるための見通しも立てやすい。
- ・ふるさとキャリア教育は、学年間で情報を共有したり、全校体制で活動を把握したりして取り組んでいると思う。
- ・伝承クラブの子ども達の頑張りが立派であった。

##### ◆児童アンケート

	調査項目	4	3	2	1	0
⑤	あなたは、エゾタンポポプロジェクトや交流活動に進んで参加していますか。	46	32	15	3	3
		54	40	5	1	0

##### ◆保護者アンケート

	調査項目	4	3	2	1	0

⑬	学校は、エゾタンポポプロジェクトや鳳凰太鼓、鹿島太鼓・鹿島流し等を通してふるさとを愛し、誇る心を育てていると思いますか。	70 76	21 23	0 0	0 0	9 1
⑭	学校は、ふるさとキャリア教育を通して、互いの良さを認め合い、協力して取り組もうとする気持ちが育っていると思いますか。	59 63	28 33	3 0	0 0	11 4

## V 保護者・地域との連携

学校の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員コメント
学校の取組が分かりやすく保護者・地域に伝えられ、地域の教育力を有効に活用している。	前期	良好	良好	夏のエゾポップくらぶへの他小学校合わせて100名以上の参加は素晴らしい。地域の人との交流を深めるため、公民館の活用も検討してみたらどうか。
	年度	良好	良好	今年度の夏・冬のエゾポップくらぶは、よい方向・流れで実施できたと感じた。ぜひ来年度の活動につなげていってほしい。
自己評価の概要と学校の改善策	【前期→年度】今年度も本学区の保護者・地域から温かい協力をいただいている。地域の期待に応えられるよう、保護者・地域の声を聞くことを一層大切にしていきたい。PTA主催の「夏のエゾポップくらぶ（旧親慈塾）」には、桂城・有浦小からもたくさんの参加者があり、東中学区の保護者の連携を高める機会へと発展している。			
	【年度→次年度】保護者・地域の方々からの協力・支援は一年間を通して、とても心強く、ありがたいものであった。保護者アンケートの各ポイントも更に高まり、保護者とますますよい関係で、共に子ども達の成長に向かっていることに感謝したい。スポ少が社会体育化されてから数年が経ち、今ではすっかり保護者・地域の手で運営されるようになった。スポ少と学校とのよりよい関係について見つめ直すちょうどよい時期であると感じている。			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
(11) 地域・家庭との連携	⑱家庭・地域への情報発信・受信, 相互理解	学校報の地区配付「みんなの登校日」の設定 長木親慈塾	3.4	3.9
	⑲家庭。地域の意見を学校運営に生かすための取組	学校評価保護者アンケートの活用		
(12) 地域の教育力の活用	⑳地域素材や人材の活用	学校支援地域本部事業の活用 正課クラブ指導者との連携	3.8	4.2

### 【各種データ】

#### ◆教職員による評価

自己評価A	自己評価B(評価指標)	実践課題	
4.0	(11)=3.9	⑱=3.9	⑲=3.8
	(12)=4.2	⑳=4.2	

・ありがとう集会など、長木小にかなり地域の方が関心をもってきている気がする。

#### ◆児童アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑬ あなたは、家で、学校のことをよく話しますか。		60	25	9	3	3
		59	27	13	1	0
⑭ あなたは、正課クラブの活動が楽しいですか。(4年生以上)		84	12	1	0	3
		78	21	1	0	0

#### ◆保護者アンケート

調査項目		4	3	2	1	0
⑮ 学校だより・学年だより・保健だよりや日常の情報交換などを通じて、学校・子供達の様子をわかりやすく伝えていきますか。		62	35	1	2	0
		74	24	2	0	0

⑯	学校は、PTA活動・教育後援会事業・スポ少等、保護者や地域との連携を大切にしていますか。	45 52	36 36	5 9	1 0	13 3
⑰	学校は、保護者の意見などを学校運営に生かしていると思いますか。	43 55	38 34	1 3	2 1	16 7
⑱	学校は、地域の特徴や地域の人材をよく活用していると思いますか。	48 63	36 28	1 2	0 0	15 7



全学年が高齢者の方々に喜んでもらいたいと福祉施設を訪問しました。



雪沢敬老会、長木公民館祭、学習発表会で堂々と鹿島太鼓を披露しました。



健康を守るために、専門家を招いての手洗い教室を実施しました。



6年生は山田町での経験を「私達は東北人」をテーマにして発表しました。



10月の輝き合い集会では、野球スポ少の優勝を全校で祝い合いました。



日頃、お世話になっている地域の方々にありがとう集会で感謝を伝えました。



## V 学校評価（年度）学校関係者評価委員会による評価

平成31年2月8日

### (1) 項目別評価

評価項目	評価	コメント
I 社会性の育成	良好	見守り隊や地域の人に対してあいさつは向上しているようだが、家庭からの指導で、顔を見て大きな声であいさつ出来るようになってもらいたい。
II 健康と体力	良好	ノーメディアデーを継続しつつ、メディアとの接し方、マナーやルールについての情報を勉強してもらいたい。メディアについては、トラブルにならないよう有効に活用してってもらいたい。
III 基礎学力	良好	全体的に学力の向上が図られたと思う。図書室が修繕され、本と接する環境が整ったので、読書に力を入れてってもらいたい。
IV ふるさとキャリア教育	良好	エゾタンポポプロジェクトはこれからも継続してってもらいたい。鳳凰太鼓の伝承もこのまま継続し、頑張ってもらいたい。
V 保護者・地域との連携	良好	今年度の夏・冬のエゾポップくらぶは、よい方向・流れで実施できたと感じた。ぜひ来年度の活動につなげてもらいたい。

### (2) 全体的なコメント

挨拶については、地域の人に挨拶があればとの意見があるが、知っている地域の人には挨拶できると思うが、知らない人には厳しいと思う。不審者と地域の人との区別がつかないという難しさもある。その辺のバランスを考えながら、よりよい挨拶を目指してもらいたい。

国語力を上げるため、読書に更に力をいれてみてはどうか。読書週間や読書時間などの更なる充実を検討してもらいたい。